

仙台銀、専門の組合と連携 外国人実習生支援 受け入れ

【仙台】仙台銀行は8月9日、外国人実習生の受け入れ事業を専門で行う監理団体・流通産業協同組合（東京都）と業務提携に関する覚書を締結した。取引先企業が実習生を受け入れ前に必要となる情

報の提供や、同組合職員を帯同した個別説明を行う。

金融機関が同組合と提携するのは初。仙台銀は、実習生受け入れを検討する企業に対し、実習生の日本語習

熟度や事前の研修体系などについて同組合を通じて情報提供する。

水産加工業者や建設業者のニーズが高く、すでに同組合職員と個別説明を実施している。

同組合は、外国人技能実習制度による実習生受け入れ監理団体で、国内大手。日本語

教育などを実習生出身国の研修機関と協力して行う。これまでベトナム、中国、フィリピンなどから2千人以上を受け入れ、日本国内の中小企業へと送り出している。

今回の提携は、2015年11月に仙台銀の持ち株会社じもとホールディングスと、損害保険ジャパン日本興亜が締結した「地方創生に係る連携協定」の一環。損保ジャパンは、代理店の自動車整備会社の実習生受け入れで組合と提携している。